

2023年度

自己評価報告書

2024年4月24日

(2024年5月報告)

学校法人 東京メディアアカデミー
専門学校 東京声優・国際アカデミー

目次

1. 学校の教育目標
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
3. 評価項目の達成及び取組状況
 - (1) 教育理念・目標
 - (2) 学校運営
 - (3) 教育活動
 - (4) 学修成果
 - (5) 学生支援
 - (6) 教育環境
 - (7) 学生の受入募集
 - (8) 財務
 - (9) 法令等の遵守
 - (10) 社会貢献・地域貢献

1. 学校の教育目標

当校は、手作り教育の実現する「技・感・美」三位一体の教育理念を掲げている。プロの表現者として要求される技術、グローバル化する社会で、様々な人たちと関わり学んでいく感性、心の内側から外見に及ぶトータルな美学を掲げ、この三つをバランス良くカリキュラムに取り入れ、技術や感性を磨き、社会人としての教養やマナーを身につけ、より社会に有用な人材を育成することを目的としている。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教育の基本となる、「人と人とのコミュニケーション」また、「異文化を理解しようとする姿勢」を基に、社会の一員として、社会に貢献しようとする人材の育成に取り組む。また、毎日の挨拶を重視し、社会人・国際人材としてのコミュニケーション能力向上に向け指導する。学生・講師・職員の距離を近づけ、のびのびと集中して学べる環境を整え、学生一人一人にしっかりと目が届く教育体制のもと、職員が面談し、個々の努力目標や改善点等をアドバイスする。このような基礎となる教育を基に目指す業界動向をとらえ、業界との連携によるインターンシップ制度を通じ、経験を踏まえ人間力の向上、進学・就職に向け、指導する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
1-1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
1-2	学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
1-4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

①課題

- ・教育理念・目的等、HPや募集要項等に記載、また、説明会等も行っており、学生、保護者への周知は努めている。

②今後の改善方策

- ・情報公開、アンケートの実施、「学校生活の規則」等を通じて保護者へ周知・理解を求める。また、保護者への活動報告の取り組みを考慮したい。

- ・企業や教育機関との連携を構築し、現場経験の機会を増やし、社会のニーズに対応した人材の育成に努める。

③特記事項

- ・特になし

(2) 学校運営

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
2-3	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
2-4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4 ③ 2 1
2-5	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
2-6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
2-7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
2-8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・自己点検・自己評価を行い、情報公開を継続する。

② 今後の改善方策

- ・学科ごとの段階的な事業計画を強化し、事前共有する。
- ・自己点検・自己評価を行い、情報公開を実施していく。

③ 特記事項

- ・学校に関する情報は当校オフィシャルサイトに掲載して広く公表している。
- ・年に2回前期・後期の始まりに講師会を通じて、今期の方針を確認している
- ・情報システム化等による業務の効率化も、教務、広報、経理、事務などデータを共有化し作業効率化を図っている。個人情報の管理も徹底している。情報共有システム、教務システムの導入により作業の効率化を進めている。

(3) 教育活動

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
3-2	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
3-5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件をそなえた教員を確保しているか	④ 3 2 1
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・時代のニーズに合わせ、必要な資格取得に関する体制の強化。

② 今後の改善方策

- ・専門性の高い講師陣と連携し、教育体制を強化していく。
- ・新しい業界のニーズに対応するために今後もカリキュラムを見直す。

③ 特記事項

- ・専門業界の講師等により、内容の深い授業であり、各事務所の評価は高い。卒業生も業界で活躍している。

- ・業界のニーズに沿った講師、人材を採用しているので努力する学生は満足できるレベルに達している。
- ・当校にオーディションの参加企業が、毎年多数来校する。
- ・企業説明会を実施している。

(4) 学修成果

	評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
4-1	就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
4-3	退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
4-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
4-5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・国際コミュニケーション学科では資格取得のために努める。
- ・卒業生との連携（連絡）をより強化し現状の把握に努めていく。
- ・退学者率の低減については引続き減少に努める。

② 今後の改善方策

- ・退学者の低減に向け引き続き生徒への対応を強化する。
- ・就職指導の強化により、更に進路の幅を広げていきたい。

③ 特記事項

- ・特になし

(5) 学生支援

	評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
5-3	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 ③ 2 1

5-4	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	③	2	1
5-5	学生の生活環境への支援体制は整備されているか	④	3	2	1
5-6	保護者と適切に連携しているか	4	③	2	1
5-7	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1
5-8	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
5-9	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	③	2	1

① 課題

- ・学生との面談の取組み体制を整備する。
- ・就職・進学等の体制の強化に努める。

② 今後の改善方策

- ・卒業生向けの支援体制を強化していく。

③ 特記事項

- ・一人一人の学生の相談を聞くことにより、進路の選択や方針を確認している。

(6) 教育環境

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2	1
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
6-3	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

- ・建物の老朽化に伴い、施設などの点検、整備の強化。
- ・スタジオ施設などの教育環境の改善を実施できるように努める。

② 今後の改善方策

- ・学生が快適に学習できるように教育設備を整える。
- ・学科ごとの教育体制の充実に向け体制を強化させる。

③ 特記事項

- ・建物の耐震診断を実施済み。診断結果も学校部分に関しては文科省基準である IS 値

(構造耐震指標) 0.7以上の結果であった。

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
7-3	学納金は妥当なものとなっているか	4	③	2	1

① の改善策

- ・インターネット、学校訪問等により合理的、効果的な告知媒体を活用し、幅広く募集活動

② を展開し課題

- ・募集定員には達していないため、今後も引き続き、募集活動を見直す必要がある。
- ・募集活動において、オープンキャンパスの来校者増員に努め、魅力的なイベント等、活動内容をさらに研究する。
- ・昨年度よりもオンラインの説明会や面談、入試を増やした。今後も更に強化していく。

③ 特記事項

- ・全国各地の学校訪問や学校説明会、ガイダンスなどを積極的に行っている。
体験セミナー、春期講習、夏期講習では毎回アンケート調査をし、改善に努めている。
入学者の9割以上がセミナー参加者。また、取組みに理解を持つ進路指導担当者、講師、法人との関係ができています。
- ・国の高等教育の修学支援制度の認定校となっている。

(8) 財務

	評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4	③	2	1
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	4	③	2	1
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

- ・中長期的に学校の財務基盤を安定させていく。
- ・財務情報公開を整え、今後も継続させる。

② 今後の改善方策

- ・学科全体で生徒数の改善を図る。
- ・少子化等の影響もあるので、妥当な収支計画を推し進めていく。
- ・財務情報の公開に今後も努める。

③ 特記事項

- ・当校は学校所有の建物であり、借入はない。

(9) 法令等の遵守

	評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④ 3 2 1
9-4	自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・自己評価等の公開実施を継続する。

② 今後の改善方策

- ・自己評価等の公開に向けて定期的に学校関係者委員会を開催し問題点を改善する。
- ・個人情報保護のための管理をより強化する。

③特記事項

特になし。

(10) 社会貢献・地域貢献

	評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
10-3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ボランティア活動に関する事が、あまり生徒に周知されていない。

② 今後の改善方策

- ・ボランティア活動を積極的に奨励する。
- ・公開講座等は、更に強化、実施していく。

③ 特記事項

- ・地域との連携を強化するために、地域の団体に所属をしている。
- ・当校設備を TV 番組やドラマの撮影など、無償で貸し出している。